

環境活動レポート

(対象期間:平成27年10月～平成28年9月)

自社開発商品

新水処理システム

(処理能力 16t / 日)



作成年月日:平成28年12月26日

株式会社三富工業 (1版)

目次

I. 組織の概要	...	P 2
II. 環境方針	...	P 3
III. 実施体制	...	P 4
IV. 環境目標	...	P 5
V. 環境活動計画と評価及び次年度の取組内容	...	P 6
VI. 環境目標の実績	...	P 7
VII. 当社の取り組み	...	P 8
VIII. 環境関連法規の遵守状況の確認 及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	...	P 10
IX. 経営者による全体評価と見直し結果	...	P 11
X. 環境上の緊急対策	...	P 12
XI. 環境コミュニケーション受付表	...	P 13
XII. 問題の是正および予防処置	...	P 14

I 組織の概要

1.事業所名及び代表者名

株式会社 三富工業
代表取締役社長 田中 穂積

2.所在地

所在地	床面積	備考
静岡県富士市桑崎441番地	6000m ²	今回の認証対象

3.環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 西田 博隆 TEL 0545-21-9050
事務担当者 田中 照美 E-mail vygt3103@shizuokanet.ne.jp

4.事業活動

自動車部品の製造及び金属加工、オゾン排水処理装置・輻射熱反射炉・過熱水蒸気発生装置の開発・製造・販売

5.事業規模

項目	平成28年10月 1日現在
売上高	3億6900万円
従業員数	35名

6.事業年度

10月1日 ～ 翌年9月30日

7.認証・登録の対象範囲

活動 : 全事業活動
対象組織 : 本社工場

Ⅱ 環境方針

株式会社 三富工業 環境方針

[環境理念]

株式会社 三富工業は、省エネルギー・省資源に貢献する商品の開発・普及に努めると共に、金属加工業を通じて 自ら環境保全を意識した事業活動を推進します。

[基本方針]

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1.二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます

- (1) 電気、軽油、ガソリン、燃料プロパンの使用量削減に努めます
- (2) 3R活動の展開による廃棄物の削減に努めます
- (3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
- (4) 化学物質の適正仕様に努めます

2.環境関連法規制等の遵守

環境関連法規制を遵守します

3.環境に配慮した製造活動

- (1) インフラ整備、補修に対して環境に配慮した製品を提供します
- (2) 事務用品や原材料等のグリーン購入に努めます
- (3) 環境に配慮した製品作りを推進します

4.環境コミュニケーションの実施

- (1) 社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図っていきます
- (2) 社内においては、全従業員に環境方針を周知させ、全社員参画による取組を目指します

制定年月日

平成27年 9月 1日

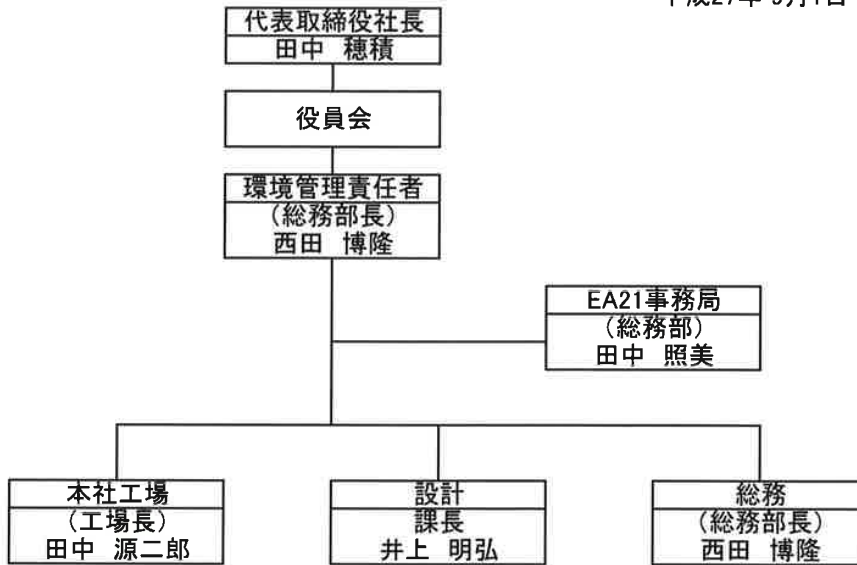
株式会社 三富工業

代表取締役社長

田中 穂積 ⑩

Ⅲ 実施体制

平成27年 9月1日 現在



〈関係者の権限と役割〉

社長

- 1) 環境経営全般に関する責任と権限
- 2) 環境方針の策定
- 3) 環境経営に必要な資源の準備
- 4) 環境管理責任者の任命
- 5) 環境経営システム全体の評価と見直し

環境管理責任者

- 1) 環境経営システム全般の運用・管理
- 2) 環境目標・環境活動計画の作成
- 3) 取組状況の社長への報告
- 4) 環境活動レポートの作成

EA21事務局

- 1) 環境負荷データ等の集計
- 2) 環境目標・環境活動計画の進行管理
- 3) 「環境負荷」及び「環境への取組」の自己管理チェックの実施
- 4) 環境管理責任者へ取組状況の報告
- 5) 法規制の遵守状況チェック
- 6) 文書・記録の管理

各部門長

- 1) 部門の環境活動計画の実施
- 2) 部門データの集計
- 3) 部門の問題点把握と是正対策の実施
- 4) 部門取組状況の事務局への報告
- 5) 部門の従業員教育

その他の従業員

- 1) 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

IV 環境目標

短期・中長期 環境目標

環境目標は、平成26年度を基準とした基準年比とする。

項目	単位	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	6,459,399	-1% 6,394,805	-2% 6,330,211	-3% 6,265,617	
	電力	kWh	504,567	-1% 499,521	-2% 494,476	-4% 489,430
	ガソリン	L	34,922	-1% 34,573	-2% 34,224	-3% 33,874
	軽油	L	13,577	-1% 13,441	-2% 13,305	-3% 13,170
	LPガス	kg	3,555	-1% 3,519	-2% 3,484	-3% 3,448
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	45.5	-1% 45.0	-2% 44.6	3% 44.1
	一般廃棄物	kg	—	現状把握	-2%	-3%
水使用量	m ³	883	-1% 874	-2% 865	3% 857	
グリーン購入(事務用品)	%	—	現状把握	購入品の 30%	購入品の 40%	
化学物質使用量	kg	192	適正な管理・使用			

(注)

- 1) 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(H25年度)の「0.530kg-CO₂/kWh)を使用した。
- 2) 「一般廃棄物排出量」及び「グリーン購入」は過去実績がないため、平成27年度9月に現状把握を行い、平成27年度から数値目標を設定する。
- 3) 「化学物質使用量」の数値目標の設定は困難なことから、定正的な目標とする。
- 4) 「環境に配慮した製品作り」は、目標を設定せず、活動のみとする。

V 環境活動計画と評価及び次年度の取組内容

(取組期間):平成27年10月～平成28年9月

環境活動項目(平成26年度)		責任者	評価	コメント	今後【次年度】の取組内容
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	田中工場長	○	計画通り実施 (従業員のエコドライブが浸透した)	継続
	A.不必要なアイドリングの禁止		○		
	B.不必要な荷物を積まない (1回/月 チェックする)		○		
	C.急発進・急加速の禁止		○		
	運転管理等	田中工場長	○	記入漏れはなし	継続
	B.同方向は相乗りの励行		○		
	空調等	西田	○	計画通り実施できた	継続
	A.エアコンの設定温度を夏季28℃ 冬季20℃に設定		○		
	B.クールビズ・ウォームビズの実施 C.空調フィルターの定期清掃		○		
	工場・事務所	田中工場長	△	今後検討する 計画通り実施できた 計画通り実施できた 今後検討する 計画通り実施できた 計画通り実施できた	継続
	A.製造工程の見直し		○		
	B.コンプレッサーのエア漏れチェック		○		
	C.未使用設備の電源OFF		△		
	D.段取り時間の短縮		○		
	E.不良品の削減 F.5S活動の実施		○		
	水使用の削減	西田	○	計画通り実施できた 計画通り実施できた	継続
水漏れ点検の実施 洗車時の節水	○				
廃棄物の削減	井上	○	計画通り実施できた 計画通り実施できた	継続	
コピー用紙の両面使用 封筒などの再利用		○			
リサイクルの推進	田中工場長	○	計画通り実施できた 計画通り実施できた	継続	
金属の分別 鉄・ステンレス・アルミ 紙・ビニールの分別		○			
グリーン購入	田中照美	○	計画通り実施できた 計画通り実施できた	継続	
グリーン購入の実績把握 グリーン商品の優先購入		○			
化学物質	西田	○	計画通り実施できた 計画通り実施できた 計画通り実施できた	継続	
使用化学物質のMSDS 購入量・使用量の把握		○			
購入・保管・使用・廃棄段階の適正管理		○			
1) 取組期間の評価は平成27年10月から平成28年9月まで1年間の実績評価である。 2) 評価判定は○・△・×の3段階で行った。 3) 活動計画の見直しは、平成27年度が終了した時点で行う。					

VI 環境目標の実績

前年同期実績をベースに、運用期間(平成27年10月～平成28年9月)の実績・評価を以下に示す。

項目	単位	平成26年度 実績	平成27年 目標	平成27年 実績	比率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	6459	-1% 6395	6215	0.96	○	
	電力	kWh	504567	-1% 499521	477567	0.95	○
	ガソリン	L	25192	-1% 24940	25303	1.00	×
	軽油	L	11725	-1% 11608	12024	1.03	×
	LPガス	kg	3585	-1% 3549	3705	1.03	×
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	48	-1% 47.5	33.5	0.70	○
	一般廃棄物	kg	-	現状把握	-	-	○
水使用量	m ³	756	-1% 748	597	0.79	○	
グリーン購入(事務用品)	%	-	現状把握	推奨購入	-	○	
化学物質使用量	L	-	適正な管理・使用	1464	-	○	

【原因分析・是正処置】

ガソリン	原因分析	得意先回りの回数の増大
	是正措置	効率の良い得意先回りの実施・指導
軽油	原因分析	受注増による納品回数の増大
	是正措置	燃費向上する安全運転の実施・指導
LPガス	原因分析	受注増によるリフト作業の増加
	是正措置	年間を通じ判断

Ⅶ 当社の取組み

◆社内注意書きで社員の意識づけ◆



◆ 自社開発商品 ◆

輻射熱反射炉 (家畜ふん尿の減容化に利用)



過熱水蒸気発生装置 (暖房 老人ホーム・病院・工場・温室・温熱ベッド)



Ⅷ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに 違反、訴訟等の有無

1 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 平成28年12月26日

評価者 西田 博隆

法律・条令	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守評価
騒音規制 静岡県生活環境の 保全等に関する条例	特定施設の届出	特定施設の届出	○
		ブレーキ	○
		レーザー切断機	○
		自動ベンダー	○
		コンプレッサー	○
		シャーリング	○
		タレパン	○
振動規制法 静岡県生活環境の保全等に関する条例	届出内容の変更の有無	変更なし	○
	規制基準値の遵守	騒音の測定(市及び自主検査)	○
	特定施設の届出	特定施設の届出	○
浄化槽法	維持管理基準の遵守	届出内容の変更の有無	○
		変更なし	○
		維持管理契約の締結	○
		保守点検の実施	○
循環型社会形成推進基本法	廃棄物の3S及び適正処理の推進	定期清掃の実施	○
		法定検査の実施(1回/年)	○
廃棄物処理法	廃棄物の分別、行政への協力	○	
	事業系一般廃棄物の処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	産業廃棄物の保管	保安基準の遵守・保管場所の表示	○
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約書の締結	○
	マニフェスト管理	マニフェストのA1・B2交付・保管	○
静岡県産業廃棄物の 適正な処理に関する 条例	委託先の実地確認と記録の保存	D・E票の期間内返却	○
		マニフェスト交付状況の知事報告	報告書提出
PRTR法	対象物質の届出	現地確認記録の保管	○
環境基本法	在庫管理	○	
地球温暖化対策推進法	自主努力義務・行政への協力	EA21の取組	○
省エネ法	自主努力義務・行政への協力	EA21の取組	○
省エネ法	省エネへの自主努力	省エネ工作機器の導入	○
消防法	少量危険物の保管	消防署への届出	○
	火災予防	消火設備の定期点検	○
高圧ガス保安法	設置届	資格取得	○
グリーン調達基準	環境方針	グリーン調達の適用範囲の設定	○

2 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

Ⅹ 代表者による全体評価と見直し結果

作成 平成28年12月26日

1・見直し関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	年間を通じて判断していく。
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	
	8	その他()	<input type="checkbox"/>	
2・代表者による全体評価・見直し指示	<p>・節電とエコドライブは従業員に周知し、その効果も出てきた</p> <p>・廃棄物は分別が周知し、削減が出来た</p> <p>・全体的には効果が上がったが、生産性の部分ではまだ不十分なところが見られるので今後継続的に継続改善していく</p> <p>・システムの有効性、目標の妥当性は認められた、まだ始めて1年経過したばかりなので環境方針や目標、活動計画は変更せず継続して取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: center;">2016年12月26日 株式会社 三富工業</p> <p style="text-align: right;">代表取締役社長 田中 穂積</p>			
	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	2	環境目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	3	環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	4	環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	6	その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

X 環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン A	地震対策	地震による破損	<ul style="list-style-type: none"> ・棚の固定 ・自分の目線より高い位置になるべく重い物をおかない ・通路の確保 ・油漏れに対応 油回収用ピットの作成 油吸着マットの用意

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2017年予定	作業中の大地震	この地域で大地震が発生する可能性が高いため防災訓練を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメットをかぶる ・余裕があるときは自分の機械の電源をOFFにする ・倒壊する重量物を確認し、その対策を検討する
参加者		全社員	
※評価と改善策			

XI 環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当: 西田 博隆

NO.	情報 入手日	情報 種類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
					連絡先			
1	/	対策・苦情		電話・メール ()		今回はクレームなし	必要・不要	
2	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
3	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
4	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
5	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	

XII 問題の是正及び予防処置

作成日 平成28年12月26日
担当者 西田 博隆

	日付	対象項目	原因	是正及び予防処置
1		今回は対象なし		
2				
3				
4				
5				